

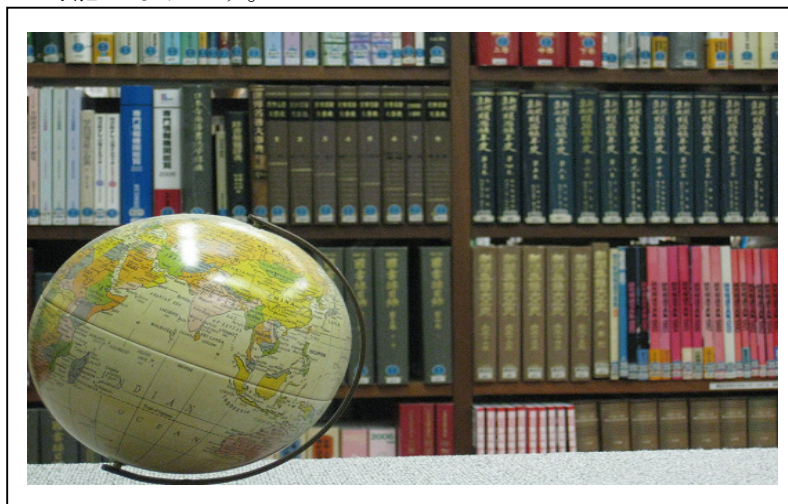
—多摩地区で初の本格実施—

福生市地域資料電子化事業がスタート！

福生市立図書館では、所蔵する地域資料を電子化し、ホームページで公開する事業に着手します。

地域で発行された図書、パンフレット、新聞、チラシなどを収集、保存し、利用に供することは、図書館業務の大きな柱の一つです。目的のひとつは、街づくりに資料提供を通して支援すること、ふたつめは、資料保存を通しての地域文化の継承です。

地域資料の電子化のメリットは、①地域資料をどこからでもいつでも利用しやすくすること、②危機管理上、電子化により、紙ベースに万が一のことがあっても、電子化することで保存することが可能となります。



■電子化資料（10タイトル）

事務報告書（昭和44年度～）、広報（昭和32年～）、市のお知らせ（昭和45年～平成3年）、市議会だより（昭和44年～）、福生の教育（平成15年～）、西多摩新聞（昭和25年～）、福生新聞（昭和27年～42年）、福生市史、福生町史、みずくらいど

■保存形式

PDFファイル 約43,000ページ

■公開方法

西多摩新聞を除く電子資料は、図書館のホームページで年度内に公開予定。

※西多摩新聞は、図書館内の利用者用コンピューターで年度内に公開予定。

■他市の状況

ここ数年、各市では電子資料を作成しているが、福生市のように昭和30年代、40年代までさかのぼり、本格的に遡及する自治体は多摩地区で初めてです。

■本事業は緊急雇用創出事業臨時特例補助金を活用

【問合せ】福生市立中央図書館（担当：柿田）

電話 553-3111